



自然の価値を伝え、関係人口を増やし、地方創生につながる実証事業

【テ - マ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スマールコンセッションの推進 **グリーン社会の実現** / その他 ()
 【対象施設】 道路 / 橋梁 **公園** / 上下水道 **河川** / 港湾 / 遊休施設 **その他 (森林・農地など)**
 【事業方式】 コンセッション **その他のPFI** / 包括的民間委託 **その他 (実証試験)**

人口・予算が減少する地方を維持するには自然の活用が有効だが人や投資の呼び込みが難しい。一方で都市では自然や人との交流へのニーズが高い。
 このため、デジタル技術を活用して都市に住む人が遠方の自然を疑似体験するプラットフォームを構築して地域との交流を促進し、地方において事業創出を促す実証試験を提案する。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

自然豊かな自治体が抱える課題

- ・人口減少（若年層の流出・高齢化）、荒廃地の増加
- ・自然を保全してきた団体の高齢化、地域コミュニティの衰退
- ・自治体の人員・予算の縮小
- ・自治体外から収益を得る手立て（知名度・施設・商品）がない。

自然の魅力を伝え、
地方と都市の関係
人口を増やし、地
方創生を促す

想定する自治体の特徴

- ・豊かな自然があるが、十分に活用されていない。
- ・再エネ導入などで、地域の自然が損なわれる懸念がある。
- ・アクセスが悪い、観光地がない等の理由から、都市との接点がない。
- ・自治体職員の意欲はあるが、自治体内に協力が得られる事業者がない。

対象施設等の想定

- ・森林（公園）
- ・農地（水田）
- ・港湾施設周辺海域（浅場）

②提案内容

STEP1：自然の価値の現状把握

- 自治体ヒアによる自然資源の発掘・洗い出し
- 自然の価値の現地調査（生物調査含む）
- 自然資源の多様な価値の定量化
- 自治体WSによる課題出し

STEP2：遠方からでも自然の魅力を疑似体験できる仮想空間の構築

- 一定の範囲に対して、3次元データを取得※1し、仮想空間（メタバース）を構築※2
例）リアルな三次元空間／自然の魅力（景観・植生、鳥＋自然音）を表現／高い操作性
- 自治体の協力により現地のリアルタイム情報を追加※3、デジタルツイン化
例）写真、コメント、イベント、特産品の販売店、特産品を扱った飲食店 等
- ※仮想空間の作成範囲は、予算との関係から要調整

STEP3：仮想空間を通じた地域交流の実証試験と事業FS検討

- 一定期間、仮想空間を公開し、自治体と都市の交流の場として運用
- アンケート・ヒアリング調査を実施し、効果と潜在的価値、コストを試算
- 事業者ヒアリングを実施し、事業創出の実現性を評価
- 因果分析を実施※4、都市の利用者の行動変容を促すのに有効な対策を検討

※1高精度3次元データ取得

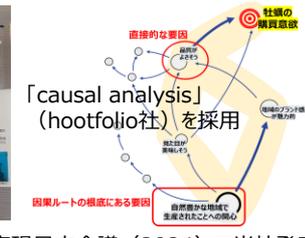
※2リアルな仮想空間（メタバース）作成

※3地域情報を統合したシステム構築

※4消費者の行動変容を促進する情報提供方法の検討



当社作品介绍 (youtube)
自然や生物が得意



当社保有機器（XGRIDS）の取得例

当社は川デジコン最優秀賞を2年連続で受賞

2025年GISフォーラム マップ部門第一位

2030生物多様性枠組実現日本会議（2024）で当社発表

【先進性】
 ・自然分野の広範にわたる事業は、複数の事業者をつなぎあわせる必要があり自治体の負担が大きい。本提案は、一気通貫で実施できるため、先進性が高い。
 ・民間事業者が自治体を伴走支援しながら一体となって実証実験に取り組むため、官民連携手法の構築の基盤づくりに貢献

【有効性】
 ・人口が少ない自治体で事業者が参画しにくいのは、自治体内だけで収益を上げて事業採算を確保するのが困難なためである。本提案は、事業のFS検討に位置付けられ、自治体外の関係人口からの収益を見込むことで、幅広い事業への拡大が期待

【汎用性】
 ・都市に住む人が来訪するきっかけの少ない自治体は多い。本提案は仮想空間を活用するため、これら多くの自治体に適用可能
 ・本提案で構築する仮想空間はプロトタイプで、現地情報と利用者の増加に応じて充実・拡張される仕様としており、幅広い用途での横展開に対応可能。